

敦賀港だから伝えられる 「命」と「平和」がある

敦賀港は、明治から昭和初期にかけて、ヨーロッパとの交通の拠点としての役割を担い、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。

当館では、数々の苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の史実を中心に、当時の敦賀市民の証言やエピソードのほか、今も続く関係者との心温まる交流を紹介し、命の大切さと平和の尊さを発信しています。

ポーランド孤児



敦賀の松原での孤児たち

ユダヤ難民



上陸を待つユダヤ難民たち
【毎日新聞記事 1941(昭和16)年6月6日より】

開館時間 | 9:00 - 17:00 (入館は 16:30まで)

休館日 | 水曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

入場料	大人	小学生以下
一般	500円	300円
団体(20名以上)	400円	240円

*4歳未満は無料 *障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで無料

団体見学 | 20名以上の団体は事前予約が必要です。

*詳しくはお問い合わせください。

ACCESS

■ バス

JR敦賀駅3番のりば ぐるっと敦賀周遊バス(観光ルート)「金ヶ崎緑地」下車

JR敦賀駅4番のりば コミュニティバス 松原線「金ヶ崎緑地」下車

■ タクシー JR敦賀駅から約10分

■ レンタサイクル

自転車の貸出・返却サービス「つるがシェアサイクル」をご利用いただけます。

■ 自家用車

北陸自動車道 敦賀インターチェンジから約10分(金ヶ崎緑地駐車場:普通車128台、大型バス5台)

MAP



人道の港 敦賀ムゼウム

〒914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町23-1
TEL: 0770-37-1035 / FAX: 0770-37-1036
Mail: jindou@ton21.ne.jp
<https://tsuruga-museum.jp>

ムゼウムはポーランド語で資料館を意味します



2021.11

Port of Humanity Tsuruga Museum

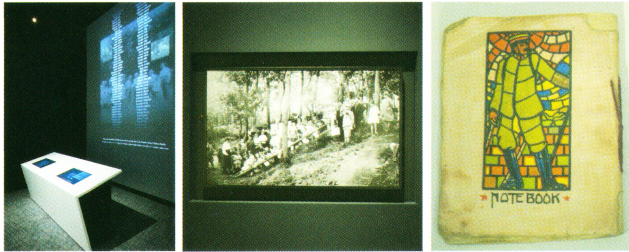
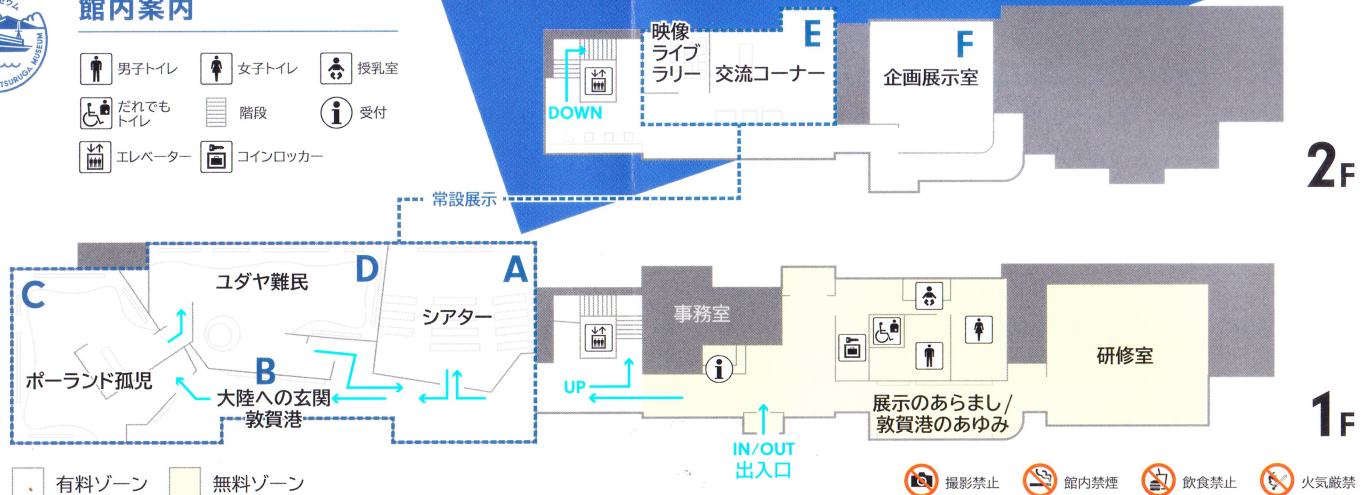
人道の港 敦賀ムゼウム





館内案内

- 男子トイレ
- 女子トイレ
- 授乳室
- だれでもトイレ
- 階段
- 受付
- エレベーター
- コインロッカー

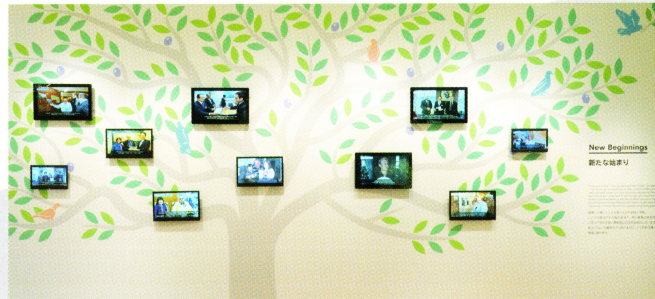


展示のあらまし/敦賀港のあゆみ
古代から現代までの敦賀港のあゆみを時代ごとに紹介。

A | シアター
なぜポーランド孤児とユダヤ難民が敦賀港に上陸したのか、「人道の港敦賀」にまつわるエピソードを映像にて紹介。

B | 大陸への玄関 敦賀港
孤児と難民が上陸する舞台となった敦賀港の発展のあゆみを写真や図で紹介。

C | ポーランド孤児
シベリアから救出され、敦賀に上陸したポーランド孤児の史実について紹介。孤児が残した日記などの史料のほか、来日100周年を記念して制作された大型の陶板レリーフも展示しています。



E | 交流コーナー
敦賀に上陸した人々のその後の生活のほか、再び敦賀の地を訪れたご本人やご家族、関係者との交流を映像などで紹介。来館メッセージも記入できます。

F | 企画展示室
所蔵史料や人道の港に関する期間限定の企画展などを開催。

研修室
大型スクリーンを備えた研修室。大人数での学習、イベントなどに利用できます。

D | ユダヤ難民
ヨーロッパを脱出し、敦賀を経由して第三国に渡って行ったユダヤ難民の史実について紹介。敦賀上陸当時の詳しい状況に関する貴重な市民証言のほか、ビザのレプリカ、難民が残した時計などを展示しています。